**【電車男／２ちゃん過去ログ１】**

もともと【電車男】が２ちゃんねるの某スレッドで話し始めた初日は、

実はＡＴというハンドルネームの男性の話が進行中だった。

そこの住民はその話を待っていたのだが、留守の間にひょっこり

やってきた【電車男】が今日あったことを話し始めたのだ。

電車男は３／１４から５／１７までのストーリーだが、

いつもはロム専だった彼が、３／１４をきっかけに話し始めた。

これは２ちゃん過去ログ倉庫の【電車男】本人のログである。

なお、２ちゃんはご存知のように板によっては過激でまた、

発言的に問題のあることも多いため、その部分に関してはこちらで

削除しました。ストーリーと関係ない話も削除しています。

これによって通常、女性では読めないような部分が多い

２ちゃんスレッドも安心して読めるよう編集してあります。

スレッドの一発目、７３１が【電車男】である。

731 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:25
すまん。俺も裏ぐった。
文才が無いから、過程は書けないけど。

このスレまじで魔力ありすぎ…
おまいらにも光あれ…

732 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:27
なんだとこあんちくしょうぁあああああ

733 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:28
きになる

734 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:28
>>731
彼女が出来たのか？

735 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:29
ネタだろ。そうだと言ってくれそうだとうわなにすんだやめ

736 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:31
壺を買わされたんだろ？

737 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:33
>>734
違うけど。でも大チャンス
こういうこと続くとネタにしか聞こえないよな
とにかくおまいら外に出てみろ

738 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:35
ごめん。よく考えたら大チャンスじゃなかった…＿|￣|○
冷静になれ俺…

739 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:36
>>737
これを打つのも何度目だろう、

　　詳　細　キ　ボ　ン

740 ：731 ：04/03/14 21:38
>>739
上手く書けないけど
ちょっと書いてみる。
ロムってたばかりの俺だからさ…
笑わないでくれよ…

741 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:41
誰も笑わないよ

742 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:42
>>740
心配するな。
少なくとも女性と接することができた
おまいを笑えるヤシなどここにはいない。

　　　　＿|￣|○

743 ：731 ：04/03/14 21:45
>>741
今書いてるんだけど、舞上がってるのもあって上手くかけねー！
状況の意味伝わるかな…
文下手でスマソ

745 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:49
ともあれ、行動を起こしたおまいに乙。

746 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:50
行動する勇気をもった貴方に乾杯です

749 ：731 ：04/03/14 21:55
今日は秋葉に行ってきた。特に買う物無かったんだけど
帰りの電車の車中で酔っ払いの爺さんがいた。
その車両には座席の端で座ってる俺と爺さん以外は殆ど女性。
２０代～４０代くらいかな。

その爺さんが、周りの女性客達に絡み始めた。
最初に若い女性に絡んだんだが、その人はすごい気が強くて
爺さんを一喝して次の駅でさっさと降りていった。
その時、俺は迷惑な奴だなぁとチラチラ様子を見てた。

爺さんは次に俺の座っている座席に来て、真ん中らへんに
座ってるおばさん数人に絡み始める。
「携帯使ったらただじゃおかねーぞ」
みたいなこと言ってビビらせてたと思う。
おばさん達は（´・ω・`)←こんな感じで押し黙ってしまった。

なんか長くなりそう。

750 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:57
>>749
結末が読めた
でも完結ヨロ

751 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 21:59
結末…車掌に知らせて鉄道警察に渡して終わり？

752 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:00
セルシオは兄貴のやつがそうだけど、
ずいぶんと動かしにくいよ。幅が取りにくい。

753 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:01
またしても家族がセルシオユーザーキタ━━━('A`)━━━!!!

754 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:01
爺さんは雇うのにいくらかかりましたか？

755 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:02
セルシオの十分の一の値段の車のおれ・・・

756 ：731 ：04/03/14 22:04
なんか上手く書けないので>>751でＦＡでいいでしょうか？（´・ω・｀）

757 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:06
>>756
別にいいよ
お前には何も期待してないから

758 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:06
本スレが別れの季節ですよ

759 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:08
敢えて春先に潜るか・・・

760 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:09
確かに文ｓ（ｒｙ

761 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:11
女の子との出会いはあったんでしょ？＞731

762 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:14
>>731
そんなこといわずに続きを（´・ω・｀）

763 ：731 ：04/03/14 22:15
>>761
出会いになるか分からないのですが…
あの時、俺にもっと勇気があれば…

一応今書いてます。もちつけ俺。

764 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:16
本スレではいま蛍の光が流れています
お別れを言いたい方はお急ぎください

765 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:17
>>764
本スレとここはすでに違う道を逝っている
そっとしといてやれ

766 ：731 ：04/03/14 22:23
おばさん達はそのままじっと下向いて
「関わらない方が良い」という感じだった。
すると、爺さんはまた訳の分からないことをわめきつつ
「女は黙って男に使われてりゃいいんだよ」
みたいなことを言って、手をおばさんの顔に持っていって顎を掴んだ。
俺はさすがにマズいと思って、勇気を振り絞ってちょっと叫んだ
「おい、やめろよ！」と。きっと声震えてた。
俺、喧嘩とかしたことなかったし。
それでも爺さんに聞こえてなかったらしく、反応無し。
「おい！あんただよ！やめろっていってるぎうこｈくえほｐ！」
必死にもう一度叫ぶ。そこでおばさんが「いいから、大丈夫だから」と
立ち上がった俺を制する。爺さんはようやく気付いたらしく
俺の方を向く。
「さっきからジロジロ見やがって…」
と睨み付けられた。

千鳥足で俺の座席の前までやってくる。
「あぁん、お前幾つだ？」
「２２だ！」
「俺はなぁ６０こいえおヴぃえそいｖ」
何言ってるかよく分からなかったけど、大体「若いくせに生意気な」
みたいな感じのことを言ってきた。
「なんだ？やるのか？やるのか？」
爺さんはもう喧嘩腰だった。
「ハア？何をですか？警察呼びますよ」
「警察でもなんでも呼べじょふげｇ」
そうのたまりながら、手を振りかざしてきた。
手元が狂ったらしく、俺の隣に座ってる女性に手が当たった。
と言っても、平手がかすったくらいだけど。

どうやって文章って短くするんですか…？（´・ω:;.:...

767 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:26
>>766
べつに読みにくい文章ではないよ。

＞やめろっていってるぎうこｈくえほｐ！

ワラタ

768 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:27
あった事を書けばいいんだｙｐ。

短くすると必要以上に省く危険があるのでオススメできない

769 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:30
俺がこんなオイシイ体験したら

逃げるんだろうな…\_|￣|............○))

770 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:34
現実世界でこんなお約束……いや、馬鹿の一つ覚えな展開になるわけない!!!

771 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:34
そしたらその手が女性にくっついちゃってもう大変！
「おっ！？おわ、どうなってんどｙそｊｋｈｇ！おわわわわー！」
「いやっ！いやあ！」
「おわわー！」
俺はたまたま念力をつかえるので「ちょわー！」とアレをやったら
はずれたので、おいしかたあ。

772 ：731 ：04/03/14 22:37
「キャッ！」とその女性客が後ろに退いた。
俺は無我夢中で立ち上がって爺さんの両腕を掴んだ。
その隙におばさん達の一人が車掌さんを呼びに行ったのが見えた。

その時、騒ぎに気が付いた隣の車両にいた２０代後半くらいの
サラリーマンが助けに来てくれた。揉み合う俺と爺さんを見るなり
爺さんを後ろから羽交い締めにする。
「あぁ、わかったわかった。そんな若い子に絡むなよ」
さすが人生の先輩だった。刺激せずになだめる事を知ってる。
「俺が押さえてるから、君はもう座りなさい」
俺もかなり興奮してたから、そのサラリーマンについでに
なだめられてしまった。爺さんはそのサラリーマンには
全然脅しかけないでやんの。自分より強いと思ったからなんだろうな
俺は舐められてたんだなと何故か悔しくなるヽ(`Д´)ノ

俺が座る隣の女性が
「迷惑な人ですね」
と、俺に声をかけてきた。
「本当迷惑です」
もっと気の利いたこと言えよ俺。＿|￣|○

疲れた…＿|￣|○

774 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 22:40
>>772
踏ん張れ！
ここからが正念場だろ！

779 ：731 ：04/03/14 22:52
カッコ悪いよ俺。
カコイイよリーマン。

しばらくすると車掌さんが来た。
「とりあえず、警察に引き渡すので次の駅で降りて下さいね」
と爺さんに言うと、またわめきだす。

事件扱いにするということで、次の駅で
俺と、隣の女性と、おばさん達、爺さんが降りた。
すると車掌さん
「ちょっとお巡りさん呼んでくるから、その人押さえててくれますか？」
と、どこかに消える。俺と爺さんと女性陣を残して。頼りにならねぇと思った。
俺は爺さんが逃げないように腕を捕まえていたんだが
「掴むんじゃねぇよ！逃げねぇよ！」
とわめき散らす。周りの香具師らも助けてくれないし…(´・ω・`)

それからずっと逃げようとする爺さんをおさまえていると
ちょっとしてようやく、警察官が２、３人やってきた
「このお爺さん？」
と俺に聞く。はいと答えると、物凄い勢いで
爺さんを駅員詰所に連れ込んで行く。俺らも後に付いて行く。
そこで全員の身分証明をした後に
「これ、事件にします？」
と女性陣に問うと、全員
「いや、いいです」
との答え。俺は一応何もされてないと答えておいた。

780 ：731 ：04/03/14 23:06
事件にしなくても、何か書類を書かないといけないらしくて
女性陣と俺も一応交番まで付いて行くことになった。
その道中
「俺のせいで、大変なことに巻きこんですいません」
と女性陣に謝った。本当はおばさん達はもっと先の駅で降りるはずだったので。
女性陣は
「いいんですよ」
と笑ってくれた。

交番に着くと、爺さんは交番の奥へ連行される。
わめき声と警察官の怒号が聞こえてきた。
「たっぷり油搾ってやるからｗ」
とお巡りさんが笑った。

調書（？）をカリカリ書いている女性陣を見てて
俺はまた謝らずにいられなくなって
ペコペコ頭下げながら謝った。
あの時、黙ってればこんな大事にならずに済んだのに
という思いで頭の中がいっぱいだったから。
「今時、お兄さんみたいな人、なかなかいませんよ」
と、おばさんの一人が言ってくれた。救われた様な気がした。

あともうちょい…
結末バレてるけど…

781 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:08
いけいけ

782 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:09
>>780
そして、そのおばさん達と・・・
ってながれだなｗ

783 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:12
いやいや、酔いが醒めて反省したお爺さんが孫娘を紹介してくれるんだよ。

784 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:17
よし、やっと服脱げた（・∀・）

785 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:18
いやいや、交番の奥から腹を刺された警官が出てくるんだよ
爺さん、ナイフを手に握って目を血走らせて、

786 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:23
そこで、さっきのリーマンが颯爽と登場し、

787 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:23
やらないが？

788 ：Mr.名無しさん ：04/03/14 23:24
そこで125が彼女と現れて
リップ（ｒｙ

789 ：731 ：04/03/14 23:24
何を思ったか
「あ、僕はもう帰って良いんですか？」
俺はお巡りさんに言った。
「はい、もういいですよ。本当にありがとうございました」
とお礼まで言ってくれた。女性陣も深々と頭を下げて
「ありがとうございました」
と。
「良かったら、お名前とご連絡先を教えてくれませんか？」
と、おばさんの一人が言った。
俺はおばさんの持ってたメモ帳に名前と住所を書いておいた
「すいません…私もいいですか？」
隣に座ってた女性にも書いておいた。
すると
「是非、今度お礼させて下さいね」
と言う。慌てふためいて
「いや、いいです、いいです」
と言ってしまった。すぐに
「では、本当にすいませんでした」
と逃げるように去っていった

終わりです。
あとで気が付いたんだが
なんで俺、そこで相手の連絡先聞かなかったんだ…＿|￣|○
俺、女の人に感謝されたこと無かったから
焦っちまったよぉぉぉぉーーー